



工房だより

～ペットのための自然食キッチンから～

2026年9月号
vol.100



今月の一枚

猪之助くん

1才 撮影時
チワワ

猪みたいに猪突猛進なパワフル犬です。そこから名前を付けて猪之助と申します。他のカリカリを食べてくれなく悩んでいてこちらの商品を購入してみたところ普段のご飯のみならず、オヤツとしても欲しがってくれるくらいお気に入りです。



ワンちゃんのお写真 募集中!

メールにて、どんなワンちゃんか
一言添えてお送りください。

採用された場合には
心ばかりのお礼をお送りします。

info@petfood-kitchen.co.jp



フォローして

ワンちゃん情報やキャン

ペーン情報をチェック!!



腸活サプリメント

「腸美サプリ」新発売

「おなかの中から美しく」というコンセプトの腸活サプリメント「腸美サプリ」の販売がスタートいたしました。2種類の乳酸菌と卵殻膜を使用し、ペットの腸内フローラの健康維持に配慮した自然素材100%のサプリメントです。



詳しい商品
情報とご購入
はこちらから



ワンちゃんと旬を楽しむ

第十八回 秋茄子

秋茄子のマルゲリータ



Instagramで動画配信中:

レシピ提案/撮影: yamashita_rei

上記の公式 Instagram から確認下さい。

工房だより

リニューアルのお知らせ

お陰様で皆さまとワンちゃんに支えていただき今月、記念すべき100号を迎えることができました。次号101号から「工房だより」が大きく生まれ変わります。

ページ数も増やし、ワンちゃんの食事や健康、毎日の暮らしに役立つ情報はもちろん、専門家にやるコラムなどワンちゃんの健やかな毎日に、少しでもお役に立てる情報をたくさんお届けしてまいります。お楽しみに。

11月生まれの

ワンちゃん大募集

今月は11月生まれのワンちゃんのお写真と、年齢・コメントを募集いたします。是非、11月生まれのワンちゃんはふるってご応募ください。掲載されたワンちゃんには、お誕生日プレゼントをお送りいたします。上記(左)infoのメールアドレスに件名「お誕生月11月」でお送りください。

第六回 臨床症状から読み解く 「歯のSOSサイン」

最終回では、飼い主様が家庭で発見できる「病的な徴候（クリニカルサイン）」について、早期発見の観点から解説します。

■**行動変化に現れる「疼痛（とうつう）サイン」**犬は本能的に疼痛（痛み）を隠すことがあるため、初期段階では明確な症状を示さないことが多くあります。しかし、注意深く観察すると以下のような行動の変化（疼痛サイン）が認められることがあります。

・**流涎過多（りゅうぜんかた）**..

よだれが異常に増えた状態です。

嚥下痛（飲み込む時の痛み）により唾液を飲み込めない場合や口腔内の違和感によることが多くあります。

・**片側での咀嚼（そしゃく）**..

片方の歯だけでご飯やおやつを噛む場合、噛んでいない方の歯が痛い可能性があります。

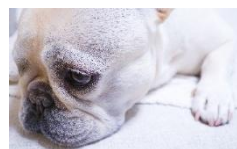
・**食事中に食べ物をこぼす**..

歯が痛いときに、ドライフードを食べなくなったり、食べても口からこぼしたり吐いてしまうことがあります。

ご飯を飲み込む前に吐いている場合は歯の痛みのサインかも。

・**接触過敏**..

口周りを触ろうとすると嫌がる、怒る行動は潜在的な疼痛を示唆する重要なサインです。歯磨きをやらせてくれなくなったと感じた際には、歯周病などの疾患が進行している可能性があります。



■**早期介入がもたらす予後への影響**

「食欲があるから大丈夫」という判断は危険です。ワンちゃんは相当な痛みがあっても食事を摂ることがあります。「疼痛サイン」が見られた時点で、すでに歯周病が進行している可能性が高く、抜歯などの獣医師による処置が必要な場合があります。早期に異常を発見し、適切な処置（歯石除去などの予防的な処置や歯周病の治療）を行うことで、口腔内の感染を除去することが重要です。早期治療によって全身への負担を軽減することができれば、結果として**健康寿命の延伸**に寄与できると考えます。

世田谷獣医歯科診療

獣医師 岡田 純一



Chap70 :海外赴任（最終回）

工さんが重い足取りで帰宅しました「急な話なんだけど……来月付でシンガポール支店への異動が決まった。」「来月って……急すぎるよ！」驚く房さんの足元で、叶ちゃんともつくんが首をかしげてパチパチと瞬きをしています。「置いていくなんて絶対に無理。でも、検疫の厳しい海外にペットを連れて行くのは、準備が山ほどあるなあ……」困惑する房さんでしたが、工さんの申し訳なさそうな顔を見て、房さんは腹をくくりました。



こうして、高尾家の一大・海外移住プロジェクトが始まりました。そこからの数週間はまさに時間との戦いでした。動物病院での狂犬病抗体検査やマイクロチップの確認、日本の動物検疫所での輸出検査と膨大な書類手続き。さらに、飛行機での移動に備え、叶ちゃんやもつくんが安心して過ごせるようクレートに慣れさせる訓練も重ねました。迎えた出国当日。成田空港のカウンターで叶ちゃんと、もつくんを預け、約7時間のフライトを経て、飛行機は無事にシンガポールのチャンギ国際空港へと着陸しました。蒸し暑い南国の空気の中、動物検疫の受取口へ向かうと、いち早く工さんと房さんを見つけ、尻尾を振る叶ちゃんと、もつくんの姿がありました。そんな2匹に二人は安堵しました。新たな物語が始まる高尾家です。

完